

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		共生型デイサービスからふる		公表日		2026年 3月 6日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	1	活動できる部屋は2か所あり、十分な広さを確保している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	人員配置基準は満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	バリアフリー化や転倒時衝撃緩和のためフロアマット使用。利用者の特性を考慮した環境整備をしている。	工程表・手順書など、障がい特性で剥がしてしまう利用者があるため、貼りだせていない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日、整理整頓・掃除している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		部屋が2つあり、活動別や落ち着ける空間として、部屋を分けて使えることができる。静養室や脱衣所など個室として使える。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			職員会議や業務の中での気づきなど話し合うことはあるが、目標設定までは出来ていない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者などの意見は速やかに対応している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員会議やその都度、職員からの意見を聞き、改善に取り組んでいる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		第三者評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	職員会議や支援会議にて、情報の共有、支援の検討、問題の解決を検討している。	今後、外部研修などに参加する必要がある。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成・公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援会議を行い個別支援計画の作成、評価など検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	個別支援計画は職員間で共有されている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	独自で使っているアセスメントシート、及び記録様式を使っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		本人支援・家族支援は踏まえているが、移行支援及び地域支援・地域連携まですすめていない。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で検討立案をしている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2	3		子どもの趣向に合わせていたら、好きな活動に固定されがちである。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動や集団活動についても個別支援計画に盛り込んである。	障がい特性から、個別活動や小グループ活動が主で、集団活動はあまり行っていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		職員の役割分担を決め、その都度職員間で話しあっている。	ミーティングの時間が取れないため、業務を行いながら職員間で共有確認になっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	日々の振り返りや気づきなど、その都度話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			日々の様子を記録しているが、検証改善まではつなげている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		1年に2回モニタリングを行っている。支援会議にて計画の評価を職員で行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	3	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		複数の提供したものから、利用児が決めて行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			学校との連携や、協力医療機関はありますが、地域の保健や保育・教育等の関係機関の連携は少ないです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		必要時、学校との連絡調整をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5		新入生など受け入れがりましたが、就学前の保育機関等との連携・情報共有はあまりできていません。相談員や家族に相談のみ。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		対象児童はいません。	情報提供するつもりです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		児童発達支援センターとの連携は少ないです。今後、助言や研修を受けたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		ありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		参加していません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳で伝えていきます。送迎時に、その日の様子を伝えるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		5		市のメールで届いた家族対象の研修等の案内は、家族に配布しますが他はありません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		運営規定、重要事項説明書等で説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		送迎時の対話やモニタリングを通して行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		個別支援計画を説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1		情報の共有はしていますが、相談はあまりありません。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		保護者会はありません。地域交流カフェを開き、利用者保護者も参加できる機会を作っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情があった場合、すぐに対応し、職員間で共有します。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月通信を発行。ホームページやInstagramに投稿し普段の様子が見れるようにしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		十分留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			絵カードなど使用しているが、まだ不十分。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		年3回、地域交流カフェを開いています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを作成、職員に職員会議等で研修周知しています。	家族に周知は出来ていません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画策定しており、職員研修、訓練等行っています。	備品が不足している物もあります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		利用前に家族より聞き取りを行い、把握できています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	対象利用児はいませんが、家族から申し出があれば、対応します。ヨシケイメニューから代替品に換えて提供する予定です。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画作成しており、職員周知・訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		5		家族への周知は出来ていません。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット事案があれば、記録、改善方法など検討し、職員にいつでも見れるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員会議にて研修を行っています。	職員のストレスチェックなど心身のケアが必要。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		マニュアル指針を作成しており、必要であればマニュアルの手順に沿って行います。		